


環境対策活動 環境対策活動  
EarthCare




RISING SUN ROCK FESTIVAL 2017 in EZO(8月11日-13日)にて約160名のメンバーと「ごみの分別ナビゲート」など5つの活動を実施。RSRの会場を「自分たちの手で綺麗にしよう」というDo It Yourselfの取り組みについて発信しました。また「HTBイチオシ!まつり」などで環境対策活動し、活動を終了しました。(もが)

見える循環  
RSRオーガニックファーム




北海道の夏は短く、畑では17回と沢山の作業がありました。体を動かし、土に触れ、一つの野菜を収穫するまでにどの様な手間や時間がかかるのかを直に体験。土に癒されるとの声も。今年のRSRの生ごみと石狩の牧場の牛糞を使用した堆肥作りも順調です。春先には堆肥撒き、じゃがいも植えなどの体験が出来ます。(すみのふ)

都市の若者と森林をつなぐ  
プロジェクト「NINOMIYA」




全72回の薪作り活動を通じて、多くの方と森林やエネルギーについて考える時間をもつことができました。今年は新たな試みとして、非会員の方でも参加できる薪割りイベントを開催しました。たき火も体験でき、エネルギー循環を実感できるイベントとなりました。次年度も開催する予定ですのでぜひご参加ください。(みーる)

北海道の自然の中で子どもたちに生きる力を  
石狩体験キッズ「チボロ」




自主企画「週末となりのピトイ」を全3回行い、石狩・札幌といった地元の子供達に森づくりや薪づくりを通して石狩の自然を体験してもらいました。また、昨年に引き続き石狩で福島県の子供達の受け入れも行いました。今年は子供23名が参加し、テント泊や海遊びなどをして北海道の夏を一緒に満喫しました。(キング)

利用者による国立公園の管理  
大雪山国立公園旭岳自然保護プロジェクト




6年目の活動、無事終了しました!全8回69名(のべ164名)が参加してくれました。山に来たことがない人も多かったのですが、「登山道の整備」「ロープ張り・回収」などと普段行わないことに目を輝かせて活動していました。今年来てハマった人も残念ながら来られなかった人も是非来年の活動にご参加ください!(がっちゃん)

道内各地のNPOと連携  
ボラ旅北海道




4月-10月で合計回数は69回。166人が活動してきました。苫小牧市では、自然体験活動(キャンプや森のようちえん)、栗山町では地域の方々と一緒に里山整備を行うなど道内各地で活動しました。子どもたちと森で思いっきり遊んだり、沢づくりを通して、地域づくりに貢献できたと思います。(ななこ)

サイクルシェアサービス  
ポロクル



7月29日、幼児から小学生に向けて、自転車に乗るスキルや他者への思いやりを生み出す「デンマーク式自転車教室」を南1条歩行者天国で行いました。子どもたちからは「楽しかった!」、「面白かった!」などの声とともに、周りの人のことを考える場面を多く見ることができ、体験の中から学びを作り出す活動ができました。(てる)

澄川乾燥野菜研究所  
Sumi Lab



今年からスタートした新プロジェクト。毎月第3木曜日に澄川乾燥野菜推進協議会と協力して澄川わくわく広場を実施しています。世代間交流の場所を展開し、乾燥野菜を使用した料理を試食してもらうことで、防災に有効な乾燥野菜を知ってもらう取り組みです。今後も継続して実施を予定しています。(てる)

### 代表の小言

ステージアピールの苦悩

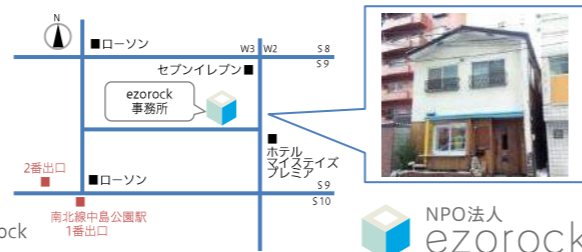
2010年を最後にお休みしていたRSRでのステージアピール。6年ぶりに復活したいという話をいただき、久しぶりにメインのSUNステージに上がりました。とても光栄なことでも嬉しい反面、正直なところ、あまり得意ではないという課題も。

その日最初のアーティストが歌う直前、ステージに上がり3分ほど頂いて、メンバーと一緒に環境対策活動の紹介をします。数万人のファンの「これからフェスが始まるんだ!」という異様な熱気の中で、名前を呼ばれてステージに上がって、マイクを握って、来場者のみなさんに呼びかけながら活動を紹介するのですが、「場を盛り上げない」とか、「オリジナルごみ袋が風に飛ばされないうか」とか、「じゃがいもをどの手で持つてようか」とか、小心者の私にいろんなプレッシャーがかかるんです。まあ、今年もなんとか無事(?)に乗り越えることができました。

私のトークはバツとしない感じだったんですが、一緒にステージに上がったコアスタッフから「こんな貴重な経験させていたで、ありがとうございませう!」って、言われたのが、一番嬉しかったです。

というところで、来年20周年を迎えるRSR。環境対策活動もさらにスキルアップしていきますので、みなさん、今から予定あけておいてください。

代表理事 草野 竹史



保存版 特集  
環境対策活動  
**EARTH CARE**  
きれいな会場を、ごみ箱からつくる。

今月の写真  
RISING SUN ROCK FESTIVAL in EZO 2016にて、分別後のごみとごみ箱で分別する来場者、分別のナビゲートをするボランティアスタッフ

# 【特集】環境対策活動EARTH CARE きれいな会場を、ごみ箱からつくる



## 環境対策活動とは

「来場者と一緒」  
「環境対策活動」は、イベントの会場をきれいにしようという活動だ。それを、「ボランティアがごみを拾う・分別してあげる」方法ではなく、「来場者と一緒に行う参加型の方法をとっている。具体的にはイベント会場に、分別毎のサインがついているごみ箱を設置して、ボランティアスタッフが数名立つ。来場者はそこにごみを捨てに行き、スムーズに分別できるようにボランティアスタッフが分ける方を伝えて、サポートする。それにより会場がきれいになり、分別も進むだけでなく、ごみを減らす意識を日常へと持ち帰ってもらうことも出来る。」

## 環境対策活動の歴史

「ごみ箱に持ってきてもらうまで」  
この活動は、A SEEDが、RSRでの活動が始まる5年前から始めていた。当時の音楽フェスではポイ捨てが当たり前で、ボランティアスタッフが資源物（ビン・缶）を拾ったり、来場者のもとに取りに行くという「資源回収」をしていた。



A SEEDはRSRが始まる2年前の98年頃、まずは来場者がごみ箱まで来てくれるようにと、「オリジナルごみ袋（通称キャンペーンバッグ）」を配り始める。



「ごみ箱で分別してもらうまで」  
そして13分別スタート

00年のRSRでの活動開始後、大きな変化があった。03年頃には



自分たちで生ごみをリサイクル  
07年からは、活動への共感を広めるために、生ごみを自分たちで堆肥化し、それで作ったじゃがいもを通して生ごみの減量と分別を呼びかける「RSRオーガニックファーム」も始まった。

地域のイベント等への派生  
また、RSRだけでなく、活動開始以降16年で50以上の地域イベントやライブイベントでも活動している（年表参照）。

## 大切にしていること

分別ナビゲートでは、三つのことを大切にしている。一つ目は、「来場者と対等な視線を持つこと」。イベントは会場内にいる全員でつくるものだと考え、来場者に対して上から目線でもへりくだる姿勢でもなく、イベントを共に楽しむ仲間としてコミュニケーションを取りながら楽しく活動するよう心がけている。二つ目は、「ブースキーパー」でいること。来場者が多く来るごみ箱で、暗い顔をしていると来場者にも伝染してしまうので、笑顔で活動するように心がける。そして最後は「do it yourself」。人に任せきりにしないで、自分たちのことはなるべく自分たちでやる」という音楽フェスの原点の精神で、わたしたちはこれからも、ごみの分別を通してこのメッセージを伝えていきたいと考えている。

## 自分が学ぶことの方が多かった



2007-10コアスタッフ  
下友梨花(みどり)  
NPO法人カタリバ職員(2017年現在)

当時、大学に入りたての私にとって、ただのごみ拾いではなく参加者自身が分別を行うこの活動は画期的で、本当に「社会を変えられるのでは」という気持ちで力を注いでいました。毎日のように学び、何時間も議論し、アクションした日々。こういった社会に向けての活動を通して、実際には自分が学ぶことの方が多かったなど、今となっては感じます。

## 人と関わるのが苦手だった



2015-17コアスタッフ  
最上智生(もが)  
酪農学園大学4年(2017年現在)

人と一緒にいることが苦痛なほど、人と関わるのが苦手なタイプでしたが、この活動から人と関わる楽しさと嬉しさを知り、人生変わることが出来たと思います。初めて参加した時、来場者に嫌な顔されるだろうと思っていましたが、帰る際「ありがとう」と言ってくれ、人の温かさに出会いました。自分のようにごみを通したたくさんの出会いが誰かの人生が変わるきっかけになっていったらと思います。



(右上)ごみ箱で分別する来場者とサポートするボランティアスタッフ  
(右下)サインの付いたごみ箱とボランティアスタッフ  
(左上) 配布したオリジナルごみ袋を持ちごみ箱に並ぶ来場者  
(左中) 分別後のごみの一部  
(左下) 分別後のペットボトルとコアスタッフ

## 環境対策活動年表

- ※二度目以降は実施年を( )内に記入
- ※[ ]に実施市町村を記入
- 2000...1回  
ASEED JAPAN, RSRにて活動開始
- 2001...1回  
ASEED北海道チームとして'ezorock'設立
- 2002...2回  
札幌学院大学大学祭(04)[札幌]
- 2003...3回  
北海道武蔵短期大学大学祭[札幌]
- 酪農学園大学大学祭(04)[江別]
- 2004...6回  
フェス史上最多13分別の開始(RSR)  
FUSIONIX OPEN AIR(05)[札幌]
- 石狩さけ祭り(〜17現在)[石狩]
- いしかり冬まつり[石狩]
- 2005...4回  
風が奏でる音楽祭(08)[石狩]
- 2006...8回  
'環境NGOezorock'に改名  
ごみのリサイクル率70%達成(RSR)  
YOSAKOIファイターズ通り[札幌]
- 大通エコイベント[札幌]
- コンサドーレ札幌[札幌]
- 平岸郷土芸能祭(〜11)[札幌]
- 西屯田夏祭り[札幌]
- 澄川パフォーマンスタワー(〜17現在)[札幌]
- アウ・クル オンラクフェスティバル[札幌]
- 2007...14回  
RSRオーガニックファーム開始(RSR)
- 創成川東秋祭り[札幌]
- Tree Little Birds[札幌]
- TOP A FRIENDS HARDER WAY[札幌]
- YOSAKOI澄川会場(08)[札幌]
- CUE MUSIC JAM-BOREE IN YUBARI[夕張]
- コンカリーニョ夏祭り(08)[札幌]
- 中の島夏祭り[札幌]
- MAGICAL CAMP[札幌]
- Mr.children HOME TOUR[札幌]
- 2008...16回  
1人1日当りのごみ発生量過去最少800.5g達成(RSR)
- 釧路チューリップ&花フェア[釧路]
- フェアトレードフェスタ[札幌]
- SOLSTICIO!![札幌]
- クールアースデイ[札幌]
- 発寒中央商店街夏祭り[札幌]
- 幌北地区夏祭り(10-13,15,16)[札幌]
- 江別市まちづくりエコイベント[江別]
- MAGICAL PARADE[札幌]
- 江別Fsフェスタ[江別]
- 2009...7回  
食用に適さなくなった古々米ごみ袋配布の実施(RSR)(〜16)
- スマイル広場[札幌]
- そら祭り北海道[札幌]
- GROOVE[札幌]
- 2010...10回  
DAI.EN.KAI SNOWWORLD FES[札幌]
- TOYOTABIGAIR(11,12)[江別]
- アルデビッツァ美唄[美唄]
- 小樽ワインカーニバル(〜17現在)[小樽]
- 大樹町泊林公園まつり[大樹]
- 2011...7回  
2012...7回  
法人化し'NPO法人ezorock'へ  
篠路コミュニティセンター夏まつり(13)[札幌]
- 2013...9回  
モエレサマーフェスティバル[札幌]
- 篠路商店街まつり[札幌]
- はまなすフェスティバル(16,17)[石狩]
- 2014...8回  
HTBイチオシ！まつり(〜17現在)[札幌]
- 長月祭[三笠]
- STVみるみる未来デー[札幌]
- モエレ沼芸術花火(15,16)[札幌]
- 2015...8回  
OKETO GREEN FESTIVAL[置戸]
- 2016...8回  
2017...6回

to be continued...